

第5回 北九州脳卒中地域連携バス協議会  
議事録

日時：2010年11月11日（木） 19:00～19:15

場所：ウエル戸畑 3階「中ホール」

出席者（敬称略）（順不同）

委員長：石束 隆男

副委員長、事務局代表：蜂須賀 研二

副委員長：浜村 明德

担当理事：井手 誠一郎

事務局幹事：小田 太士

オブザーバー：重吉 桂司

委員

北九州市立門司病院	ソーシャルワーカー	前田 秀隆
健和会大手町病院	看護師	鴨崎 治美
九州労災病院	脳血管内科 看護師	荒川 修治 森本 タケ子
小倉リハビリテーション病院	リハビリテーション科	大野 重雄
北九州中央病院	リハビリテーション科	奈良 聡一郎
戸畑けんわ病院	リハビリテーション科	二見 哲夫
戸畑共立病院	脳神経外科	辻 武寿
芳野病院	理学療法士	小西 智晴
戸畑リハビリテーション病院	作業療法士	東谷 成晃
正和中央病院	リハビリテーション科	浦上 泰成
正和なみき病院	リハビリテーション科	浦上 泰成
北九州八幡東病院	理学療法士	山下 太
新日鐵八幡記念病院	ソーシャルワーカー	三宅 仁史
済生会八幡総合病院	脳神経外科	岡本 右滋
北九州市立八幡病院	脳神経外科	越智 章
九州厚生年金病院	理学療法士	林 秀俊
産業医科大学病院	ソーシャルワーカー	野田 雅美

欠席者

北九州総合病院	脳神経外科	西村 茂
小倉記念病院	脳神経外科	村井 望

北九州市立医療センター	脳外科	勝田 俊郎
新小倉病院	脳神経外科	吉開 俊一
九州労災病院門司メディカルセンター	神経内科	武井 崇展
健和会大手町病院	脳神経外科	末廣 栄一
北九州安部公園病院	内科	田中 繁
新小文字病院	脳神経外科	金子 陽一
新日鐵八幡記念病院	脳血管内科	藤本 茂
新生会病院	ソーシャルワーカー	内野 八重
牧山中央病院	内科	山根 堅司
東筑病院	リハビリテーション科	前川 信行
遠賀中間医師会おかがき病院	ソーシャルワーカー	野邊 薫

東和病院、三萩野病院については委員未選定

その他、一般出席者	急性期病院	医師	21名	医療従事者	26名
	回復期病院	医師	9名	医療従事者	9名
	一般病院・施設	医療従事者	51名		
	北九州市保健福祉局		1名		

司会 北九州脳卒中連携バス協議会 委員長 石束 隆男先生

## 議事内容

### 1. 連携バス協議会事務局幹事 小田

#### 連携バス利用状況

北九州医師会に報告済みの連携バスの利用状況を報告した。平成22年1月末が39件、4月末が154件、今回10月末には310件と漸増傾向にある。連携バスを使用している病院数は、急性期6病院、回復期6病院、維持期（一般）病院3病院と同様に増加傾向にある。

#### 連携バス Ver.2 完成について

今年の9月に連携バス Ver.2 が完成し、従来の急性期から回復期までをA3サイズにまとめていたものから急性期、回復期、維持期をすべてA4サイズの3分割にした。これまでと同様に北九州医師会あるいは産業医科大学リハビリテーション医学講座のホームページからファイルのダウンロードが可能である。手書き入力にはPDFファイル形式、PC入力はExcelファイル形式となっている。Excelファイルの利用にあたり、入力方法ならびに注意事項を説明した。

ダウンロード後、アクセスならびにファイル入力形式は下記の通りである。

#### 北九州医師会ホームページの場合

「医師・医療関係の皆様へ」の項目の「保健・医療・福祉等」を選択しクリック

「地域連携関係」から「脳卒中地域連携バス北九州標準モデル」をクリック

## 産業医科大学リハビリテーション医学講座ホームページの場合

「脳卒中地域連携パス北九州標準モデル」を選択しクリック

脳卒中地域連携パス北九州標準モデルのホームページには、連携パス Ver.2 の医療機関用ならびに患者説明用のファイルがそれぞれ急性期、回復期、維持期の3つに分けて掲示されている。さらに、医療機関用に関しては、それぞれ手書き用、PC入力用があり、手書き用を使用する場合、該当する病期をクリック後、連携シートを印刷する。

次に、PC入力用の入力方法について説明を行った。PC入力方法は急性期シートを例に挙げた。

PC入力用ファイルは、インターネット上でファイル管理するためにセキュリティが設定されている。画面上**セキュリティの警告** マクロが無効にされましたとなっており、このままでは全ての入力は困難であるため、マクロを有効にする必要がある。

**オプションをクリックする。**

「このコンテンツを有効にする」にし、最後に**OKをクリック**

仮に、最初に入力を行った後、名前を付けて保存し再度入力を行う場合、ファイルを開いた後、再度、上記のマクロを有効にする作業が必要になる。

日付の入力方法は、PC入力用ファイルの年月日の場所にカーソルを移動させると吹き出しに入力方法の説明が提示される。

(例) 2010年11月11日の場合、2010 or 10/11/11 と入力し、Enterを押す

2011年2月3日の場合、2011 or 11/2/3 と入力し、Enterを押す

### 3. 事務局連絡事項

第6回北九州脳卒中地域連携パス協議会の開催予定

2010年1月20日(木) 19:00~ リーガロイヤル小倉

維持期医療機関の本協議会委員への登録は増加傾向にありますが、急性期から維持期までの包括医療を実践するためには、特に維持期医療機関の先生方の御協力が不可欠である。まだ登録されていない維持期医療機関で登録を御希望される際は下記まで御連絡下さい。

これまで同様、連携パス使用時は、必ずコピーを北九州医師会へFAXあるいは郵送して下さい。急性期病院、回復期病院ともに、転院あるいは退院時に医師会へ送付して下さい。

北九州市小倉北区馬借1-7-1 北九州医師会内 北九州地域連携運営委員会

FAX 093-513-3816

今後のパスの運用に活かすため、急性期から回復期もしくは回復期から急性期病院への御意見をお聞きしています。連携パスに関する御意見もしくは今後の協議会での議題についての御要望は下記まで御連絡頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

かかりつけ医の先生方が記載後、急性期病院あるいは回復期病院に送付して頂いたものも可能な限り医師会に送付して頂きますよう宜しくお願い致します。

〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1  
北九州脳卒中地域連携パス協議会事務局（産業医科大学リハ医学講座）  
担当職員：菊池晶子、事務局幹事：小田太士  
Fax: 093-691-3529 E-mail: [reha@mbox.med.uoeh-u.ac.jp](mailto:reha@mbox.med.uoeh-u.ac.jp)

文責 北九州脳卒中地域医療連携パス協議会 幹事  
（産業医科大学リハビリテーション医学講座）  
小田 太士